

# 議会だより



町立第2保育所生活発表会

## ◆ 目次 ◆

<input type="checkbox"/> 12月定例会で審議したこと	2
<input type="checkbox"/> 12月定例会 賛否表	3
<input type="checkbox"/> 12月定例会 28年度決算状況	4~5
<input type="checkbox"/> 委員会報告	6~7
<input type="checkbox"/> 一般質問 6人が町政を問う	8~14
<input type="checkbox"/> 委員会先進地視察	15
<input type="checkbox"/> 議会日誌	16

# 一般会計補正2億4239万円の増額予算を **可決**

# 総額61億1877万円

## 一般会計の主な補正予算

追加した主な事業	補正額
障害児デイサービス等の障害児通所給付費	11,571千円
出生数の増加による児童手当	4,950千円
避難情報表示板・防災マップ作成業務委託料	35,000千円
皿山公園の遊具等の撤去に係る工事費	3,000千円
各種大会等への派遣に係る体育文化振興事業補助金	1,200千円
公債費の繰り上げ償還元金等	236,032千円
特別職及び職員の給与改定に伴う人件費等	4,493千円

## 12月定例会で審議したこと

19日から21日までの3日間の会期で開催されました。20議案が上程され、全議案とも原案のとおり可決されました。

※ 主な内容として、9月議会で各常任委員会に付託されていた平成28年度の決算認定8件、税条例の一部改正1件、一般会計ほかの補正予算5件、人事院勧告に伴う給与条例の一部改正2件、それに伴う補正予算4件が提案され、可決されました。

また、一般質問は、6議員が14項目の町政課題について質問しました。

### 主な質疑等

**質問** 福祉センターの燃料費の増額補正について、入浴者数は、1日何人利用されているか。

**回答** 月平均983人の利用者で、昨年より月127人増加している。

**質問** 児童手当の増額について、出生数はどうのような状況か。

**回答** 昨年1年間で1229人生まれているので、今年は1577人を見込んでいる。

**質問** 体育文化振興事業費補助金について、120万円の増額補正の内容を詳しく。

**回答** 既に昨年と同じように65件の補助金を支出しており、昨年と同様の決算額300万円程度になると見込んでいる。

### 税条例の一部改正

平成31年10月1日から消費税率が10%になることに伴い、法人町民税は6%に引き下げられます。

また、軽自動車の自動車取得税は廃止となり、新たに「環境性能割」が創設され、適用基準により1%〜3%を納めなければなりません。

個人住民税について、今年の収入分から配偶者特別控除が見直しされ、現行の103万円から段階的に控除額が変わっていたものが、150万円に引き上げられます。

## 平成29年度特別会計の補正予算 **可決**

特別会計名	補正額	可決後の予算額
国民健康保険特別会計	▲4,277千円	17億5319万円
介護保険特別会計	(保険事業勘定)	▲35,491千円
	(サービス事業勘定)	▲698千円
公共下水道事業特別会計	3,000千円	7億4378万円
水道事業会計	6,716千円	3億7326万円

※付託とは、議会において、議案の審査を本会議の議決に先だてて他の機関に委ねること。

## 平成29年12月定例会 賛否表

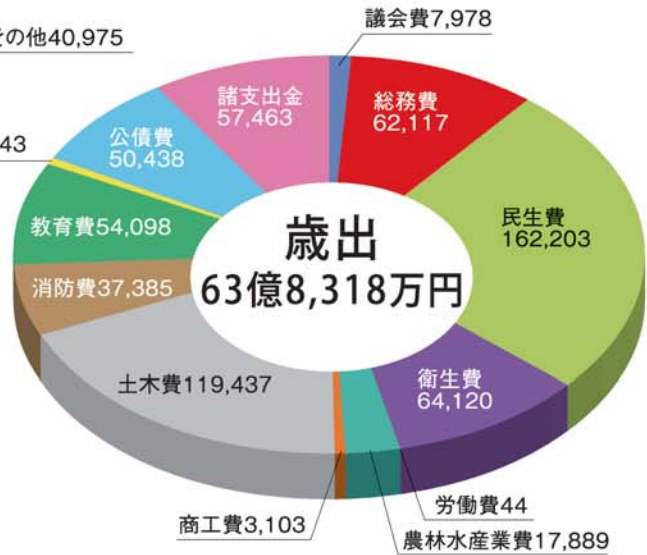
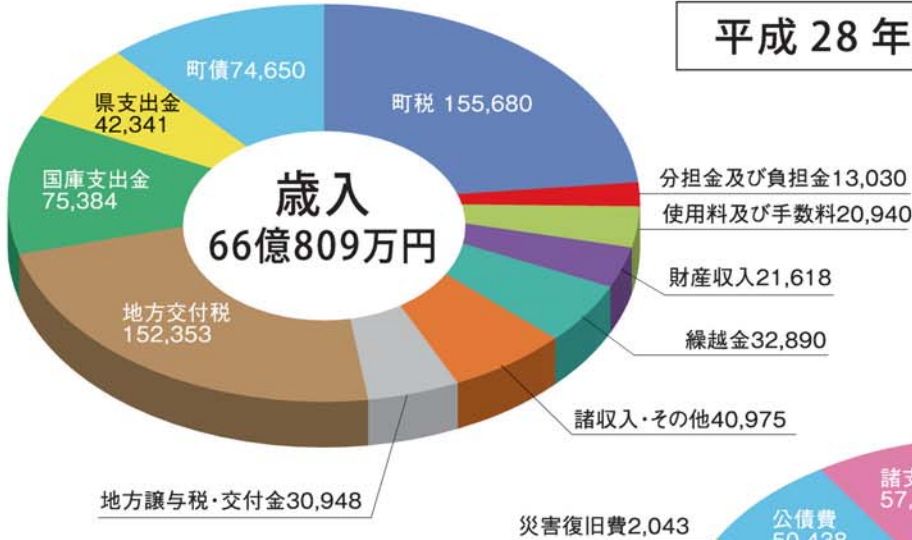
○は賛成 ×は反対 ーは退席

議案番号	議案件名	永安 文男	浜野 亘	永田 勝美	長谷川 忠	阿部 豊	橋本 義雄	平田 康範	須藤 敏規	川副 善敬	淡田 邦夫	評決数	結果
46	平成28年度 佐々町一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	ー	○	議長は採決に加わりません	7対1	認定
47	平成28年度 佐々町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	○	○		8対1	認定
48	平成28年度 佐々町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	×	×	○	○	○	○	×	×		5対4	認定
49	平成28年度 佐々町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	○	○		8対1	認定
50	平成28年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
51	平成28年度 佐々町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
52	平成28年度 佐々町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
53	平成28年度 佐々町水道事業会計利益の処分及び決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
65	佐々町税条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
66	平成29年度 佐々町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
67	平成29年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
68	平成29年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
69	平成29年度 佐々町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
70	平成29年度 佐々町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
71	町長及び副町長の給与に関する条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
72	職員の給与に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
73	平成29年度 佐々町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
74	平成29年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
75	平成29年度 佐々町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
76	平成29年度 佐々町水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決

# にどう生かされたか!! 億8318万円の使い道は

## 平成28年度一般会計決算

単位：万円



### 佐々町のふところ具合は？

町の借金である一般会計の地方債残高は48億7580万円に、町の貯金である一般会計の基金残高は60億2038万円になりました。

### ■会計別決算状況

区 分		歳 入	歳 出	差 引 額	
一 般 会 計		66億8,089千円	63億83,183千円	2億24,906千円	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	17億47,787千円	16億77,998千円	69,789千円	
	国民健康保険診療所特別会計	8,981千円	8,281千円	700千円	
	介護保険特別会計	保険事業勘定	11億16,271千円	10億52,785千円	63,486千円
		サービス事業勘定	5,094千円	4,611千円	483千円
	後期高齢者医療特別会計	1億32,455千円	1億30,340千円	2,115千円	
	公共下水道事業特別会計	6億86,714千円	6億56,407千円	30,307千円	
	農業集落排水事業特別会計	31,373千円	28,268千円	3,105千円	
	小 計	37億28,675千円	35億58,690千円	1億69,985千円	
合 計	103億36,764千円	99億41,873千円	3億94,891千円		

水道事業会計	収益的※1	3億62,928千円	2億55,806千円	1億7,122千円
	資本的※2	914千円	2億12,547千円	▲2億11,633千円

※1 収益的…経営に伴い、発生が予想される収入と費用 ※2 資本的…将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

平成28年度  
決算認定

# 住み続けたいまちづくり 一般会計支出総額63

こんな事業に使われました

## 地域交流センター建設事業

町内会活動や各種団体の活動拠点、交流人口の拡大を図るため

- ・監理業務委託料 9,810千円
- ・建設工事費 240,776千円
- ・建設工事費(繰越明許費) 135,600千円
- ・備品購入費 15,877千円

## 道路新設改良事業

生活道路の通行の利便性・安全性の確保のため

- ・業務委託料(10件) 24,881千円
- ・工事請負費(23件) 136,203千円

## 総合防災システム整備事業 (同報系防災行政無線)

防災関連情報および一般行政情報の提供  
(老朽化したシステムのデジタル化)

- ・工事施工監理業務委託料 3,888千円
- ・情報配信整備委託料 24,894千円
- ・防災行政無線デジタル化整備工事費 179,018千円

## 都市計画街路棚方崎真申線 (トンネル工事他)

- ・長崎県施行工事地元負担金 64,400千円

### 決算認定に係る討論

○平成28年度  
一般会計決算認定の件

#### 反対討論

基金が2億7千万円ほど積み上がり、残高が62億8千万円余りとなっている。お金を残して町民の要求要望が十分反映された決算とはいえない。原発問題については、避難計画もつくられず、容認の姿勢を続ける町の姿勢を反映した決算には賛成できない。

#### 賛成討論

福祉医療の助成など佐々町ならではの独自の施策が取り入れられています。基金の積み上げ分は、学校施設や庁舎、多くの老朽化した施設の今後の計画の貴重な財源であると思います。

佐々町をよくする行政運営を期待して賛成します。

○平成28年度 国民健康保険特別会計決算認定の件

#### 反対討論

資格証明書を一律に発行して、その発行数も県下で一番高い。一部負担金の執行猶予免除要綱の未整備の問題や、1億円を超え

る基金は、一定額を取崩して国保税の値下げを行うべきと考えます。

#### 賛成討論

税の収納施策の取り組みや、保健事業の特定健診、保健指導の受診率向上対策、各種の健康事業も実施されています。健全運営をしてきたことによる1億円の基金は、都道府県化される時の保険料軽減に大きなアドバンテージを得る財産と感じています。

○平成28年度 介護保険特別会計決算認定の件

#### 反対討論

積立金残高が1億1千600万円を超える。黒字の場合も少しでも還元して引き下げるのが求められるのではないかと、引き下げの努力が十分されてこなかった。

#### 賛成討論

65歳以上の高齢者数は3千660人、高齢化率は26.6%、介護認定者数は485人、認定率が13.2%の状況で、各種の介護サービスの地域包括支援センターの活動が充実強化された成果が出ている。

#### 反対討論

事業の成果は十分認める

が今度は剰余金が出ていく。ある程度の基金は必要だが、財政の見通しが悪かった。保険料の負担の重さ、来年度からの保険料設定の重大さから考え、予算に反映されるよう反対。

#### 賛成討論

基金は、平成30年度から32年度の第7期事業計画で有効活用されるものと判断します。在宅ケアの促進が図られ、事業の長期的安定化により一層の努力が必要。

○後期高齢者医療特別会計決算認定の件

#### 反対討論

高齢者人口が増えるたびに、加入高齢者の負担割合を増加させる仕組みの弊害や制度設計、思想も含めて大変重大な問題をかかえており、この増加傾向を容認するわけにはいかない。

#### 賛成討論

高齢者が病气、ケガをした時に安心して医療を受けられる制度として、なくてはならない制度です。超高齢化、人口減少の社会では、公的な医療保険として非常に重要な制度です。

# 委員会報告

## 総務厚生委員会

### (決算審査報告)

10月27日・30日・31日  
11月1日・2日・22日の6日間開催した。

9月定例会で付託された平成28年度決算認定に係る5議案

### (所管事務調査報告) 11月29日に開催した。

#### 1 条例等について

(1) 臨時非常勤職員の現状報告  
2020年4月施行の地方公務員法一部改正に伴う対応。臨時職員等の現況として、男性74人、女性155人、合計229人の在籍があり、平均賃金月額109,462円。月平均約2,500万円の歳出となっている。

#### 制特例措置

2 し尿・ごみ処理について  
西九州北部地域連携中枢都市圏の協議が開始された。ただし、事務レベル協議は開始されていない。

#### 3 国保制度の件

(1) 国保都道府県化  
7月段階の試算によれば、不足額が1,260万円となる。激変緩和で1,000万円がまかなわれるが、残り260万円については基金で対応したい旨、報告を受けた。

(2) 平成30年度の国保税について  
国保都道府県化に伴う試算が三方式で示されることから、この機会に現行の資産割を廃止し、三方式へ変更したい旨報告を受けた。試算では資産割廃止に伴い1,

440万円の減収、所得割増額により700万円の増収。差し引き740万円の不足となり、調整基金でまかないたい旨の説明を受けた。

#### 4 未利用町有地活用

佐世保市西消防署 佐々出張所移転建設事業案が示されている。小浦免の町有地(約2,000㎡)に移転新築が計画されている。平成30年1月までに検討を行う予定である旨の説明を受けた。

(2) 土地評価事務取扱要領作成  
平成33年度から市街地宅地評価法(通称「路線価」)を導入

(3) 社会資本制度整備交付金事業  
平成30年度が最終年度となり、事業計画変更を予定している。

(4) 町債の繰上償還  
基金見直しとして、約2億3,500万円の繰上償還を予定している。

(5) 幼保連携型認定こども園進捗状況  
施工中に地中より支障物が出現し、工期が約1カ月間延びる見通しとなった。

(6) 金融機関合併  
長崎県民信用組合と佐世保中央信用組合が平成30年1月29日に合併。佐々支店は存続。県民信用組合は本町の収納代理金融機関であることから名称変更等が行われる。



#### 5 その他報告6件

(1) コンビニ収納導入の件  
平成31年運用開始

# 委員会報告

## 総務厚生委員会

### (決算審査報告)

10月27日・30日・31日  
11月1日・2日・22日の6日間開催した。

9月定例会で付託された平成28年度決算認定に係る5議案

#### ●議案第46号

佐々町一般会計歳入歳出決算認定の件

質疑・答弁を受けて 討論の結果、賛成多数で 原案のとおり認定とした。

#### ●議案第47号

佐々町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件

質疑・答弁を受けて 討論の結果、賛成多数で 原案のとおり認定とした。

#### ●議案第48号

佐々町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件

質疑・答弁を受けて

討論の結果、賛成少数で 原案を不認定とした。

#### ●議案第49号

佐々町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件

質疑・答弁を受けて 討論の結果、賛成多数で 原案のとおり認定とした。

#### ●議案第50号

佐々町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件

質疑・答弁を受けて 討論の結果、全会一致で 原案のとおり認定とした。

(4) 固定資産税の特例措置、地域決定型地方税

(3) 個人住民税の配偶者控除・配偶者特別控除の見直し

(2) 自動車取得税の県税廃止

(1) 消費税10%施行(平成31年10月1日予定)に伴う地方法人課税の改定

(3) 税条例改定

(2) 平成29年度人事院勤告概要(省略)

(1) 消費税10%施行(平成31年10月1日予定)に伴う地方法人課税の改定

(2) 平成29年度人事院勤告概要(省略)

(1) 消費税10%施行(平成31年10月1日予定)に伴う地方法人課税の改定

(2) 平成29年度人事院勤告概要(省略)

(1) 消費税10%施行(平成31年10月1日予定)に伴う地方法人課税の改定

(2) 平成29年度人事院勤告概要(省略)

(1) 消費税10%施行(平成31年10月1日予定)に伴う地方法人課税の改定

(2) 平成29年度人事院勤告概要(省略)

(1) 消費税10%施行(平成31年10月1日予定)に伴う地方法人課税の改定

(2) 平成29年度人事院勤告概要(省略)

# 産業建設文教委員会

## (決算審査報告)

11月6日・7日・13日の3日間開催した。  
9月定例会で付託された平成28年度決算認定に係る3議案

### ●議案第51号

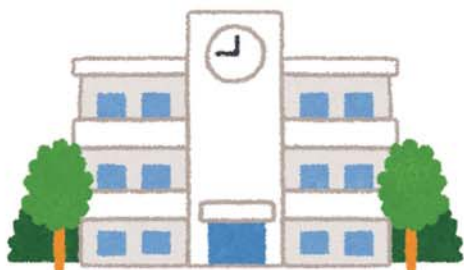
佐々町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件

固定資産税評価調査委託料、下水道ストックマネジメント計画調査業務委託料、下水道加入促進計画、企業会計移行後の会計処理などについて質疑、答弁を受けて、委員会は全会一致で原案のとおり、認定とした。

### ●議案第52号

佐々町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件

公共下水道への接続に係るスケジューリング、受益者加入金、使用料の徴収状況などについて質疑、答弁を受けて委員会



は原案のとおり認定とした。

### ●議案第53号

佐々町水道事業会計利益の処分及び決算認定の件

収益的収入の決算並びに支出の決算額及び資本的収入の決算並びに支出の決算額、深井戸

導水管新設工事、使用料の収納状況、漏水対策などについて質疑、答弁を

受けて、原案を認定とした。

## (所管事務調査報告)

11月13日・12月1日の2日間開催した。

### 小浦雨水ポンプ場 長寿命化計画

平成5年の供用開始から23年経過し、標準耐用年数を経過している。

当施設は住民の生命財産及び交通、通信等の都市機能を浸水から守る重要な非常用設備であり、確実な始動と排水運転が求められる。施設機能を維持するために、各設備を対象とした長寿命化計画を策定する方針。

### 準要保護(就学助成)に係る単価の変更

就学援助、準要保護分の単価の参考となる国の要保護分基準額が変更されたことから、現行との差を改正。

改正は告知の日から施行し、さかのぼって平

成29年4月1日から適用。

### 佐々町立小中学校 施設整備構想

①施設整備に係る建替、補修、改善等の評価は、平成28年4月1日時点における築年数、劣化症状調査等によるもの。

②事業費は、床面積等にも標準単価を掛けたもので、他町有施設整備との調整及び長期的な財産負担・計画等は考慮されていない。

③学校の校舎・屋内運動場を対象とした整備計画で、付帯工事や付帯備品などの費用は含まない。

④児童生徒数は「総合戦略・長期人口ビジョン」に従い、ほぼ変わ

らないものとなっている。

### への影響

### ②事業の進捗状況

### ①交通誘導警備員の ひっ迫による工事

## 議会運営委員会

### (所管事務調査)

12月4日に開催した。

議会の運営に関する事項で2件の調査を行いました。

### 小値賀町議会との合同 同研修開催について

政策条例のつくり方として研修を考えているとの議長からの説明を受けて協議し、全員協議会へ提案することに決定しました。

聞いたところであり、今後、公共施設等総合管理計画の個別計画や全体の財政計画が示されることから、時期をみて再検討するということになりました。

### 第6次総合計画の 進捗状況の説明について

佐々町のあるべき方向性を示されている「第6次総合計画」の進捗状況は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を



ここが聞きたい

# 6人が町政の方針を問う!!

## 活かそう町民の声

平田 康 範 議員(一問一答)…………… 9

- ①自治会加入促進に向けた取り組みについて
- ②胃がん予防対策の課題と取り組みについて

須藤 敏 規 議員(一問一答)…………… 10

- ①平成30年度予算編成について

永安 文 男 議員(一問一答)…………… 11

- ①交通安全対策について
- ②生活保護行政について

永田 勝 美 議員(一問一答)…………… 12

- ①子育て応援、教育環境整備について
- ②国保税引き下げについて
- ③介護保険料引き下げについて
- ④玄海原発再稼働への対応について

橋本 義 雄 議員(一括質問)…………… 13

- ①まちづくりについて
- ②総合戦略について

浜野 亘 議員(一問一答)…………… 14

- ①観光情報センター及びバス乗車券販売所の移転の可否について
- ②役場横の駐車場の利用並びに総合福祉センター前広場について
- ③公共工事ほか業務の入札の実施について



消防関係者の仕事始めとなる消防出初式(1月6日)



出初式での一斉放水(佐々川)

○一般質問の記事について  
質問した議員が執筆したものです。

○一般質問方法

【一括質問一括答弁】

議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】

文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。



## 町内会への加入促進に向けた取り組みは 町内会との連携による方法を見出す

町内会は共助社会づくりを進める上で、最も身近な支援団体であり、また、行政運営においても最も重要な住民組織であるので町内会への加入促進に向けた取り組みについて質問する。

**質問**

町内会は自主的に形成・運営されている地縁に基づく住民自治組織であるが、町内会への加入率を伺う。

**町長**

毎年、4月1日現在で調査しているが、住民基本台帳の世帯数で捉えると平成28年度は76.1%であり29年度は75.4%となっているのが、減少傾向にあるのはと考えている。



議員 平田 康範

**質問**

行政と住民との間に意識の隔たりが生じないように町内会へ加入いただくことが重要ではあるが「広報さざ」を未加入者へ配布し、町内会への加入について理解を得ることも必要ではないのか。

**町長**

新年度から公共施設、金融機関、佐々駅、コンビニやスーパーマーケットなどに一定数を配置することで準備を進めている。  
しかし、全戸配布という意味では、この取組では解消できないので別の対応が必要と考えている。



住民相互の連携意識、相互扶助の考えから自主防災組織が設立されている【自主防災訓練での炊き出し】



伝えるから動かす行政広報紙【広報さざ】

**質問**

広報や啓発、また、相談に積極的に取り組むことを明文化し、さらには、住宅関連業者は住宅販売や、賃貸契約時に契約者に対して情報提供するなど地域コミュニティ活性化推進条例を制定するなど町内会加入促進に取り組んでいる自治体もあるが、本町も住宅関連業者との連携も検討すべきではないのか。

**町長**

町内会長連合会との協議もしながら、町内会へ加入していただくような方法を研究したいと考えている。

## 胃がんリスク検診の受診率向上に 努めるべき 受診について周知をして 行かなければと思う

胃がん予防は早期発見、早期治療が重要との考えから今後の対応について質問する。



住民健診が実施されている【健康相談センター】

**質問**

ピロリ菌除菌を行えば胃がんリスクは激減されるがピロリ菌感染の有無を検査する胃がんリスク検診の受診率向上の取り組みは。

**町長**

7月の住民前期検診での未受診者の方を対象に9月の後期検診で個別に受診の再勧誘を行っていく。

**質問**

市町村レベルで将来の胃がん予防のために市町村レベルで学校検診の折、中学3年生を対象にピロリ菌の感染検査、除菌に乗り出す自治体が増えているが保護者の理解も必要ではあるが、本町も検討すべきと考えるが。

**町長**

県や市町村の動向を見ながら、今後、教育委員会と調整し、研究していきたい。



議員 須藤 敏規

## し尿の前処理施設の建設問題 今年度中に結論を示したい

方向性を、議会と住民に示して頂きたい。

### 町長

3年間の中で加入推進をやっているが、なかなか進まない。し尿の量もあまり減らないので民間にしている。

**質問**  
し尿の前処理施設の建設問題について、はっきりとした意志と明確な

## 30年度予算編成 標準財政規模は、34億5千万円の見通し

**質問**  
30年度予算は、財政規模、財源確保に伴う予算編成規模の将来見通しは。

### 町長

標準財政規模は、自治体の一般財源の額。臨時財政対策債を含めた歳入一般財源と国が示す標準財政規模との差を見ると、標準財政規模プラス1億円程度の歳入一般財源と見ることが

できる。  
将来見通しは、国の債務残高が1000兆円

## 学校給食会計の移行 国のガイドライン策定後に検討

### 質問

学校長の責任で管理する方式と一般会計とか特別会計を作って予算化して管理する方式があると思う。徴収金の負担業務が過重と問題になっており、解放すべきと思う。徴収状況とか未収金が発生した場合の対応、一般会計への移行についての考えはあるのか。

### 教育長

給食費等の徴収業務は、各学校に諸費用集金業務を担当する方の人件費相当を、町が自主的に補助する形で配置しています。  
徴収業務に教職員が当たることは、殆どありません。校長が管理する私会計方式での学校給

食費の徴収を行っています。  
平成28年度の徴収状況は、滞納者が小学校で1件、中学校で1件の合計2件です。  
会計責任者は、校長と

言うことになる。  
一般会計の移行については、文部科学省が来年度の概算要求に徴収方法のガイドラインを策定するため予算を計上。内容が明らかに成り次第検討したい。

## 補助金の検証

## 適正化委員会で全体的に見直し

### 質問

公益性、公共性からしても、補助制度の検証をして予算化すべきと考えるが如何か。報告の中で補助金の残額がある実態はどうか。

### 町長

が、そういうものを含めてどのようにしていくか、各課、担当課とも協議をしながら取り組んでいきたい。  
各担当課における補助金支出の実績報告は、

それぞれの団体における剰余金と言うところは、それぞれの課で把握できているものと考えている。

### 企画財政課長

全体の補助金を見る中で感じている部分が、運営費補助金として補助しているものがある

剰余金、繰越というのが、たくさんあるところについては見直しをやっていないかなければならないと思っています。  
補助金の適正化委員会、適正な会議を作った全体的にやっています。

新たな方策は持ち合わせていない。職員がそれぞれ質の向上、勉強をして取り組んでいかなければと思っています。

### 副町長

事務事業のサービスの反面、公平性の観点から徴収率の向上について、新たな方策をお持ちか。

### 質問

歳出面で人件費、公共施設の年次計画の提示がないが、歳出総額について抑制をどのようにお考えか。

### 町長

物件費関係は、ある程度限度額にきているのではないかと。臨時雇用関係は、民でできるような仕組みを考えていって、物件費の圧縮に努めなければと考えている。住民サービスを低下させないような予算編成をやっているか。



議員 永安文男

## 交通安全に取り組む基本的な考え方は 関係団体とも協力し交通安全対策を進める

県内の昨年の交通事故による死者は45人で、そのうち65歳以上が34人と7割以上を占める。第6次総合計画では、交通事故から町民を守るとして交通安全施設の整備を推進しますとあるが。

### 質問

カーブミラー設置の状況及び設置基準は

### 町長

各町内会より次年度予算要望があり、4月以降に申請を上げていただき、現地立会いを行い受理するかの判断を行っています。

### 総務課長

これまで設置基準はありませんでした。今回、意義として、あくまで一時停止とか目視、徐行、譲り合いを行った後においても、まだ危険な箇所ということで、カーブミラーの設置基準を考えていきたい。

徐行運転しても先が見えにくい場所に、補助的施設として設置するということです。

町内会長さんと現場で検討し成否の判断をする方向でいきたい。



見えにくいカーブミラー

### 質問

管理はどうされているか。向きが違ったり苔が見受けられるが、管理対応ができるシステムをつくっては。

### 総務課長

管理が不十分で申し訳ないと思います。今後、道路台帳が整うことで設置箇所の把握をしていきたい。今後も連絡をいただければ、早急に対応したいと考えています。

### 質問

四ツ井桶踏切横の横断歩道までの坂道に、スピード緩和のでこぼこ舗装はできないか。

### 町長

必要な地区であれば、地域の人のアドバイスを受けてやっていかなければと考えます。



四ツ井桶踏切前横断歩道

### 質問

第七分団横の交差点改良はできないか。

### 建設課長

国道に入る見通しが悪い。道路の形状や用地費用で厳しいと判断しています。区画線の工夫とかで検討させていただきたい。

## 生活保護費の引き下げが 検討されている

## 生活保護は十分機能しているか

## 申請の相談・自立支援を 関係機関と共に実施

### 質問

生活保護行政の事務の流れは。

病床で苦しんでいる方がいる一方で、働けるのに生活保護費を遊興に使っているとの話も聞く。実態調査はしっかりとされているか。

### 町長

県が実施機関ということで、県が保護を決定し実施している。町長は申請を受け取って5日以内に県の福祉事務所へ送付しなければならぬ。

実際に町の窓口においても十分に聞き取りを行いながら、保護申請書や収入申告書、資産の申告書を県の福祉事務所へ送付しています。

### 質問

県から福祉事務所の設置をとの話があったかどうか。

### 町長

話があったことは確かです。県の代行ということでの話がありましたが、町としては厳しいのではないかと判断しています。

## 生活保護





議員 永田勝美

## 介護保険料軽減に基金を活用すべきだ 30年度からは引き下げる

**質問** 介護保険財政の基金が1億円を超えている。保険料軽減にあてるべきと考えるがどうか。

**町長** 平成30年度からの第7次計画では、基金の取り崩しも勘案し、現在の保険料から低く設定できるものと考えている。



## 介護保険制度改定に伴うサービスマス低下はないのか サービスマスが低下する事はないと考える

**質問** 介護保険制度が来年から改定される。安倍政権ができてから介護給付の削減や保険料引き上げなど介護を受けにくくする制度改悪が続いている。今回改定によりサービスマスが後退する部分はないのか。

**住民福祉課長** 一部現役並み所得の方の利用者負担割合の見直しはあるが、介護保険サービスマスが後退する部分はないと考えている。

## 学校施設の現状は、整備前倒しが必要 切り離すことは難しいが急いでやりたい

**質問** 佐々町立小中学校施設整備構想が、教育委員会から報告書として提出された。この構想の位置付と今後の検討の進め方について問う。

**町長** 全体のスケジュール等については、現在、町長部局がつくっている公共施設等の総合整備計画において、整理して進める。(総合整備計画は)今年度中の策定を予定している。

**質問** 学校の老朽化は深刻であり、(一方で)施設構想は長期間かつ多額費用を要する計画とならざるを得ない。しかし、現場を視察してみると改善は待たなし、トイレはほとんどが和式トイレで、学校で用を足せない児童もある。こども達の間では「くさい」などいじめの対象にされることもある。便秘が習慣化することから重篤な疾患を発症すること

もある。  
教室のエアコンも同様に深刻だ。「整備構想」の前倒しの取り組みが求められていると考えるがどうか。

**町長** 教室のエアコンやトイレの整備率向上などは、それはそれでやらなくちゃならない、切り離すことはなかなか難しいが、どちらにしても早くやりたい。



## 国保税が「県単位化」で引き上がることは許されない 保険税上昇部分の対応は基金の活用を考える

**質問** 国保が高いのは、国が国保の負担割合を減らし、そのツケが住民と自

治体に押しつけられたことにある。協会けんぽなどと比べても高すぎる国保が、県単位化で、さらに上がることは許されない。基金の取り崩しを行ってでも引き下げるべきだ。

**町長** 11月に出された試算では税額が増加することが予想される。負担軽減のため、国県の激変緩和(措置)で補填できない保険税の上昇部分は基金の活用を考えている。

## 原発の安全性に新たな疑惑が生じている 再稼働容認姿勢に変更はないか 今の段階では原発は必要

**質問** この間、原発再稼働をめぐる重大な事実が明らかとなった。

神戸製鋼・三菱マテリアルのデータ偽装製品が原発に使われている事実

だ。  
また、12月には広島高裁では四国電力伊方原発の運転差し止め判決が出た。阿蘇山の噴火災害の到達距離が原子力安全委員会のマニュアルに160kmとなっているのに、再稼働を承認したことは「不合理」と断じた。玄海原発も160キロ圏内に入っている。立場に変わりにないか。

**町長** 国民生活とか企業活動というのを考えると今の段階では、まだ原発による発電は必要。原子力規制委員会の的確な対応で情報の開示が国民の安全安心につながることを確信している。

**まとめ** いつまでも原発を容認し続けることは本町の将来にとっても不利益をもたらす。

再生可能エネルギーへの転換をチャレンジしていく妨げとなる。あらためて原子力より自然再生エネルギー、原発再稼働反対と強調したい。

## 歩道・通り抜けのできない道路・防災的避難道路をどう整備していくのか

### まず調査をさせていただきたい

#### 質問

町長は、町民主体のまちづくりを掲げているが、人口が徐々に増え、まだまだ住宅も増える可能性がります。炭鉱時代の道路がそのままの状態のところもあり、歩道・通り抜けのできない道路・防災的避難道路となるべき道路も改良されていません。今後どう取り組み、「暮らし一番住むならさざ」につなげていくのか。

#### 町長

幅員が狭い生活道路では、歩行者の安全、緊急車両の進入等に支



議員 橋本 義雄

障をきしている事は認識しています。今後は、限られた財源の中で、質の高い道路整備を実施するために、必要性・効率性を評価しながら、投資の重点化・建設コストの節減化に努めながら効率的な整備を進めていかなければならないと考えています。



安全安心な歩道の整備を

## 結婚式場・宿泊施設を誘致する考えは

### 進出したい企業があればお話しさせていただきたい

#### 質問

総合戦略のなかに「出会い・結婚・子育てなど一貫した支援を行います。」とありますが、どのような事業を行いどうであったのか、また今後どのように進めていくのか。佐々町には、結婚式場も、宿泊施設もない状況です。この状況をどう思うか。誘致する考えはありますか。

#### 町長

佐々町夢づくりプロジェクトが実施され、婚活イベントで男女149人の方が参加され、これまで4組の婚姻があったと聞いている。結婚式場、宿泊施設について



結婚式場と宿泊施設を我が町に

は、なかなか難しい。シビアな考えをもって民間の方がこちらに來られれば、我々も協力させていただきたいと思っています。

#### 質問

皿山農産物直売所の活性化方策への取り組みについて、どう考えているのか。

#### 町長

地域から愛される直売所として活性化が図られるよう、引き続き組合員のご意見をいただきながら、食育を含め、地産地消に努めて

いかなければならないと考えています。

#### 質問

佐々町全体で野菜づくりを推進するために、農家を中心として、農家以外の人も含め野菜づくりを行い、野菜の品評会をやったかどうか。

#### 町長

それも一つのアイデアだと思っております。やはり農協・県の改良普及所・営農組合の皆様のお知恵と技術を貸していただいて、本町の農業の活性化も考えて行かなければならない。



沢山の野菜の出荷が待たれる直売所



議員 浜野 亘

### 観光情報センターとバス券売所の移転はないか 佐々駅舎の老朽化対策を含め今後検討する

佐々ーC横の「観光情報センター」並びに西肥バスの乗車券販売所の移転について、佐々駅前付近のほうが、自動車を所有していない方、MR佐々駅や西肥バス佐々BCで下車される方などに、利便性が向上して、施設利用者の増加につながると思ひ質問した。

#### 質問

観光情報センターとバス乗車券の販売は、毎年100万円の税金が使われている。「させばつくす99」が出来、観光情報セン

ターや立派なトイレもあります。それでも、今の場所が良いと思われているのか。バスの乗車券は、1日平均で何枚販売しているのか。

#### 産業経済課長

1日にすると2、5件の販売です。今後検討すべきと思うが、現在の場所でお願ひしたい。

#### 質問

佐々駅前のほうが、松浦鉄道や西肥バスの利用者には便利。冷暖房が効いた待合所になり、乗車券の販売も増えメリットがある。

#### 町長

西九州道の延伸がどのようになるか、佐々駅舎についても、今後総合的に検討する。



利便性が悪い観光情報センター

### 役場庁舎横の駐車場を閉庁日に開放できないか 各課から申請があれば必要な時間開放する

役場庁舎横の駐車場の閉庁日の利用について、以前は解放されていたが、トイレや銀行ATMの利用、商店街の利用者に開放して欲しい。

工事もしていないのに総合福祉センター前の広場に駐車させても問題ないと思ひ質問した。

#### 質問

町民運動会や町民文化祭の時も、早くは解放していなかった。休日も駐車場を開放して良いのではないか。

#### 総務課長

公共施設の駐車場の管理ができていない。

役場の事務をする施設で、すべての人が利用できる施設ではない。各課から利用申請があれば開放する。

トイレやATM利用者の方々、商店街利用者には役場横が便利でないか。平日と同じの8時から20時を開放できないか。

#### 町長

町民の方の行事には開放できるが、総務課が管理している。各課から利用申請があれば、必要な時間を開放している。

### 総合福祉センター前広場の駐車場利用は 事業が始まるので駐車禁止にしている

総合福祉センターの関係職員に駐車禁止を言ったのは、総務課の職員と聞いた。古庄町長が指示されたのか。

#### 町長

私は「車を止めるな」とは指示していない。多分事業が始まるので、止めないようにつつたと思う。



閉庁日の役場横駐車場

### 委託業務に最低制限価格が必要なのか 入札制度は副町長が中心に進めている

委託業務の入札について、最低制限価格が設定されているが、3カ月の入札執行状況を見ると、応札の金額が安過ぎたことにより、失格の業者が多い。町の仕事を受注したいとの表れなのに、最低制限価格未満は入札失格にしてよいものかと思ひ質問した。

#### 質問

業務委託の最低制限価格設定は、いつから実施したのか。

#### 建設課長

平成27年10月から実施している。

#### 質問

コピー機械の入札で5社が辞退され、1社だけの応札で競争と言えるのか。

#### 副町長

過去も辞退者が続いている。1社だけでもやむを得ない。

#### 質問

業務委託で失格者がなかったとした場合、3カ月で291万7千円が節約できた。波佐見町の官製談合事件やリニア談合事件があつている。入札制度について再検討を期待したい。

#### 町長

私は直接関知していない。副町長を中心に、入札業者指名委員会等で協議して進めている。談合事件については、職員には徹底させている。

# 総務厚生委員会先進地視察

- ◆ 日 時 平成29年10月25日
- ◆ 場 所 愛知県知多郡東浦町
- ◆ 参 加 者 総務厚生委員5人（阿部 長谷川 川副 須藤 永田）
- ◆ 研修テーマ 臨時・非常勤職員等のあり方 見直しの取り組みについて

平成26年7月4日付 総務省通知「臨時非常勤職員及び任期付職員の任用等の見直し」の指導があった。

本町は正職員の割合からすると、臨時・非常勤職員数が全国的なレベルからみても多い現状である。その先進例として「愛知県東浦町」に研修視察を行った。

東浦町は、愛知県中部の知多半島北部に位置し名古屋市に近いことから、昭和45年以降大規模な住宅開発が進み、現在人口5万4千人の町である。

同町では、様々な分野での臨時・非常勤職員に対するのマニュアルを

作成、メンバーを各課に配置して、意見を聞き推進体制を確立した。

しかしながら、国においても臨時・非常勤制度については未整備な部分も多くあり、どの業務にどのような任用根拠、勤務形態の職員を充てるかは、地方自治体の裁量に委ねる部分も多いことから大変苦労したとのことであった。

佐々町も臨時・非常勤職員が多いため機構改革、業務の外部委託などの取り組みを行い、平成32年4月の実施に備えなくてはならない。



役場会議室にて説明を受ける

- ◆ 日 時 平成29年10月26日
- ◆ 場 所 愛知県知多郡阿久比町
- ◆ 参 加 者 総務厚生委員5人
- ◆ 研修テーマ 阿久比町新庁舎建設について

阿久比町新庁舎は、平成27年12月に庁舎棟が完成、翌年1月より業務開始。平成29年3月にホール棟、レストラン棟が完成しました。

平成24年1月に町民の皆さんからの意見と、有識者・専門家の意見を参考に基本構想が策定され

庁舎の概要は鉄筋コンクリート造地上4階、事業費約47億3千万円、新庁舎基本方針は、

- ① 町民交流、参加できる多目的ホールを併設した複合型施設。
  - ② 安全安心で利用し易くかつ防災拠点となる庁舎
  - ③ 環境に配慮した効率的で経済的な庁舎。
- 人口は約28,700人（平成29年10月1日現在）



阿久比町役場正面玄関

# 議会日誌

- 〔10月〕
- 12日 議会だより編集委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 20日 議会だより編集委員会
- 23日 議会だより編集委員会
- 24日 議会だより編集委員会
- 25日(～26日) 総務厚生委員会  
視察研修(愛知県東浦町)
- 27日 総務厚生委員会  
決算審査(1日目)
- 30日 総務厚生委員会  
決算審査(2日目)
- 31日 総務厚生委員会  
決算審査(3日目)  
議長先進地行政調査  
(11/2まで)  
(石川県志賀町中能登町)
- 〔11月〕
- 1日 総務厚生委員会  
決算審査(4日目)
- 2日 総務厚生委員会
- 6日 決算審査(5日目)
- 7日 産業建設文教委員会  
決算審査(1日目)
- 13日 産業建設文教委員会  
決算審査(2日目)
- 16日 県知事、県議会議長への  
要望活動(正副議長・正  
副委員長)
- 22日 西九州自動車道建設促  
進協議会要望活動(国土  
交通省九州地方整備局・  
長崎県庁・長崎県議会)
- 27日 議長・副議長及び事務局  
長研修会
- 29日(～30日) 西九州自動車道建設促  
進協議会要望活動(衆議  
院議員会館自民党本部  
国土交通省)
- 1日 産業建設文教委員会  
所管事務調査
- 〔12月〕
- 1日 産業建設文教委員会  
所管事務調査
- 4日 議会運営委員会
- 12日 議会運営委員会  
全員協議会
- 19日 議会だより編集委員会
- 20日 12月定例会(1日目)
- 21日 12月定例会(2日目)
- 21日 12月定例会(3日目)
- 議会運営委員会

## 議会傍聴アンケート募集

佐々町議会では、傍聴をされた方からご意見、ご要望をいただき今後の議会運営に役立ててまいりたいと考えています。アンケート用紙につきましては、議場傍聴席入口に設置しておりますのでご協力よろしくお願いします。

## 次回定例会の傍聴ご案内

3月上旬を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。

12月定例会傍聴数は15人でした。

## 町民の声を募集中!

TEL62-2101  
FAX63-5398

## 議会だより編集委員会からのお願い

「佐々町議会」の腕章を着用した議会だより編集委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 編集後記

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

佐々町では、30年度の予算編成の時期ですが、間もなく卒業と入学又は就職の季節です。色々と準備でお忙しいことと存じます。

平成の元号も残り一年余りとなり、新元号は何になるか気になります。

編集委員が交代して3号目の「議会だより」の編集になりますが、見やすく分かり易い紙面づくりのため、少しずつレイアウトなどを変更しております。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、皆様の「議会だより」の編集並びに町議会へご意見をよろしくお願ひいたします。

(浜野 亘)



佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷所 / do 佐々町皆瀬免九八五